

科目名	日本文学史（上代・中古）					単位	2.0
担当教員	大脇 由紀子						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	3221

●授業のテーマ

奈良時代・平安時代の日本文学

●到達目標

奈良時代と平安時代の日本文学について、歴史の出来事を軸に理解する。時代背景や自然環境、地域環境なども理解しつつ、代表的作品について把握する。

●学習内容(授業概要)

日本人は弥生時代に文字（漢字）と出会った。漢字を学び、木・布・土器・金属・石・紙などに記録した。大陸・朝鮮から導入した知識（仏教や道教、政治など）が導入され、やがて文字や文法を駆使し、神仏の世界や歌といった日本独自の世界を「日本語」で表現しようと試みた。この積み重ねは後に国風文化として開花し、『源氏物語』といった世界に誇る文学作品を誕生させるにいたる。

本講義では、奈良時代・平安時代の文学、特に東海地方に関係するものを取り上げ、作品を読むだけではなく、関連する史跡や絵画なども紹介しながら、それぞれの作品世界をより深く鑑賞し、古典文学に親しむため、また高校生に指導するために必要な知識の修得を目指す。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション（授業の進め方など。時代区分など概説。）
2. 古代東海地方の文字資料
3. 歴史書 『古事記』と伊勢神宮
4. 漢詩文 『懷風藻』と中国文化の受容
5. 和歌文学（1） 『万葉集』と東海道
6. 物語文学（1） 『伊勢物語』と参河
7. 物語文学（2） 『源氏物語』と齋宮
8. 和歌文学（2） 三代集と東海地方の歌枕
9. 歴史書 『日本書紀』の聖徳太子
10. 歴史書 『古事記』のヤマトタケル
11. 説話文学（1） 『日本霊異記』の尾張の大力の女
12. 説話文学（2） 『今昔物語集』にみる犬頭糸
13. 歴史物語 『栄華物語』と赤染衛門
14. 日記文学（1） 高師の浜から『更級日記』
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

教員採用試験を想定した日本文学史の小テストを行うので各自勉強しておくこと。

●成績評価方法・基準

筆記試験 70%

授業に対する積極性（小テスト成績を含む） 30%

●テキスト（必携）

高校時代に使用した国語便覧・日本文学史年表など。

●参考文献／その他

小峰和明編『日本文学史 古代・中世編』ミネルヴァ書房  
ISBN:4623064496 (9784623064496)

あいち文学散歩

愛知県国語教育研究会高等学校部会『あいち文学散歩』浜島書店

●履修上の注意

講義においてプリントを配布します。プリントを保存するバインダーなどを用意してください。